

平成29年4月16日執行 佐久市議会議員一般選挙公報

佐久市選挙管理委員会

1. 観光の力で地域を活性化

医療ツーリズム(地域外から佐久市を訪ね医療サービスを受けること)やグリーンツーリズム(都市と農村の交流)の枠組みの構築、また、2020年の東京オリンピックに向けたスポーツ交流の推進で、経済効果を高め地域を活性化するとともに、伝統産業を引き継ぐ人材の育成制度を充実し、若者がUターン、Iターンしたいと思う魅力ある街づくりをします。

2. 高齢者と若者が共存できる コミュニティ(共同体)づくり

核家族化が進む中、希薄である高齢者と若者の人間関係を改善すべく、日ごろから交流の場を設け、地域みんなで子育てや介護の手助けができる、安心安全のコミュニティ社会の創造を目指します。

3. 子育て支援の推進

現在子どもの6人に1人が、貧困に陥っているとされています。子どもは社会の宝であり、無限の可能性を秘めています。箱物行政にストップをかけ、税金の使い道を、変えなくてはなりません。食育の観点から給食費の無料化、教育の観点から給付型奨学金を支給し、才能ある子供たちに学ぶ機会を提供し、将来社会に貢献できる人材を育成します。

【プロフィール】

- 昭和35年3月/湯名田、高柳商店(こうりゅうてい)の長男として誕生
- 昭和53年3月/野沢北高等学校卒業
- 昭和58年3月/早稲田大学社会科学部卒業
- 昭和58年4月/東急観光株式会社(現、東武トップツアーズ株式会社)に入社
長野仕入センター長歴任

サラリーマン時代に培ったノウハウをフルに活用し、佐久市に人を呼び込みます。

おもてなしと、
いたわりの心が
あふれる地域へ。



- 例えば...
- 廃校舎の活用
 - 観光地の再構築
 - 観光施設の再生
 - 自然体験施設の整備
 - スポーツ施設整備
 - イベントへの誘客などを提案します。



高柳 ひろゆき
たかやなぎ
57歳

3の柱で未来の佐久を! 子ども子育て

子ども達は佐久の未来を担っていきます。「従来の支援」に加え、「未来への投資」という2つの考えで、厚みを持った政策を行います。

文化・芸術で経済力アップ

「芸の蔵」構想*で、佐久市の文化的取り組みを全国へ発信していきます。この構想は全国で注目され、必ず交流人口が増えます。佐久のイメージが上がり二次的に農産物や製品も購入してもらえる機会が増えます。

地域コミュニティの活性化

少子高齢化が進み、遠い親戚より隣人との支え合いが重要になっています。住民自治の活性化に多くの予算を投入できる仕組みを考え導入します。

*「芸の蔵」 美大を卒業する学生全員がプロになれるわけではありません。心血注いで制作した作品は大学で廃棄している現状があります。そこで、使用されていない建物を美術館として活用し、廃棄される素晴らしい作品を収集し、展示することで交流人口を増やし、文化の情報を全国に発信します。



しろひろう
城田 領
りょう
陶芸家(51歳)

市民の立場でスジを通し、実行します



柳沢まさおさんを推薦します
佐久市議会議員 井出節夫
柳沢まさおさんは労働運動・平和運動で経験を積まれた活動家です。市政にハッキリものを言える税金の使い方を考えることができます。私も応援します。

柳沢まさおさんを推薦します

- ★社会保障である国保税の値上げは中止を
- ★学校給食費・保育料の無料化を
- ★高齢者のタクシー利用に補助を
- ★大型開発をやめ税金は暮らしや福祉・教育に

国の政治は、ひどくなるばかりです。郷土・佐久市を暮らしやすい、活気ある街に、そのお役に立ちたい思いで立候補しました。
高見澤電機では働く者の生活と権利を守るためにその先頭に立って活動してきました。
この経験を活かし、今度は佐久市議会でもみなさんの切実な願いを市政に届けます。ご支援をよろしくお願い致します。



柳沢 まさお
日本共産党

[プロフィール]1947年佐久市田口生まれ。岩村田高校卒。高見澤電機。労働組合委員長。田口小PTA会長。田口原区長。日本共産党佐久地区委員。趣味。詩吟、ハーモニカ。家族。妻、三男

- ①防災・文化活動の拠点や学習センター・児童館の場として、野沢会館を建て替え、再構築を目指します。
- ②中部横断自動車道・地域道路整備も図りながら、観光事業の振興を推進します。
- ③新たな産業の創出を図りながら、雇用の安定と弱者のセーフティネットの構築を目指します。
- ④子育て支援から高齢者福祉、障がい児支援も含め、充実させてまいります。

3期12年の実績!!

地域活動
●のぞむ商店街振興組合 初代理事長
●山門市実行委員会 相談役
●びんごころ会 会長
歴 任
●前 佐久市議会議員
●前 佐久広域連合協議会議長
●元 佐久水道企業団協議会議長
●元 高速交通網特別委員会委員長
●元 総務文教常任委員会委員長
現 職
●総務文教常任委員会委員
●高速交通網特別委員会委員
●佐久広域連合協議会議員
●佐久水道企業団協議会議員
●佐久市・北佐久郡環境施設組合協議会議員
●社会福祉法人佐久市社会福祉協議会評議員

実行力と行動力で
ふるさと佐久の
活性化を!!



市川 としのぶ

小金沢あきひでが取り組む政策提言

1. 循環バスとデマンドタクシーの拡充で公共交通の充実を
2. 保育士の確保によって3歳未満時の保育の充実、幼児教育の充実
3. 雇用の確保
 - 起業家・新規就農者への支援を充実させ、雇用を確保
 - 企業誘致の実現、若者の新規雇用の確保
 - 意欲ある求職者が再チャレンジできる仕組みづくりの実現
4. 中長期的展望に立ったまちづくり
 - 将来の可能性を秘めた樫橋地区を活用したまちづくり
 - 佐久白田IC、白田支所、佐久総合病院を核としたまちづくり、企業誘致の早期実現
5. 地域の歴史・文化を観光資源に! お金をかけずに外貨を稼ぐ
 - 中山道を基軸にした地域の自然、食文化、文化財を活用して外国人観光客の誘致を
6. インフラ整備の充実
 - 松本空港から佐久平駅まで1時間以内で結ぶ松本佐久高規格道路の早期実現を 佐久から世界へ! 世界からSAKUへ!!
 - 中部横断自動車道八千穂高原ICから長坂JCまでの早期実現を
7. 教育環境の充実
 - 世界に通用する人材の育成
 - 小学校英語教育の拡充
 - コミュニティスクールの充実
 - 奨学金制度の拡充
8. 木質バイオマスの普及実現
 - 森林資源を活用した自然エネルギーの普及

政策実現のために
今、取り組みます



こがねざわ
小金沢あきひで

税金は、くらし・福祉のために

障がい者が暮らしやすい街は
誰もが暮らしやすい街

- だれでも払える国保税に
国保税の値上げ許さず
国に1人1万円の引き下げを求めます
- 内山の産廃処分場建設絶対反対
- だれでも、教育、医療うけられる体制を
 - 子どもと障がい者の医療費を窓口完全無料に
 - 給食費の無料化、自施設炊飯など子どもたちに最高の給食を
 - 保育料は無料化
 - 就学援助の拡充を
 - 返済不要の給付型奨学金制度の創設
 - 高齢者のタクシー利用に補助制度を
- バリアフリーの街づくり
音響装置付き信号、障がい者用トイレ増設
- 多様な農業支援で、地域の農業を守る
- 安保健法廃止、憲法を守る
オスプレイ NO! 原発ゼロへ

「国産地8億円値引き」の森友疑惑の一方で、年金カット、今の政治は目に余ります。市政も、30億円の大型開発の一方で、国保税の値上げ...税金は、くらしや子育て、雇用、福祉、教育にこそ使わなければならないでしょう。 「弱い立場の人たちに寄り添い、声を届け実現する」を信条に、全力で頑張ります。



内藤 ゆう子
国・市にハッキリもの言える人 日本共産党



市予算は434億円。財政調整基金は73億円、不要不急の事業を見直せば、財源はあります。

平成29年4月16日執行 佐久市議会議員一般選挙公報

佐久市選挙管理委員会



桜井いちた

昭和二十六年 桜井に生まれる
中央大学 文学部 哲学科卒業
現在 櫻井行政書士事務所経営

市政は、市民ファースト主義で行なう事が原則です。

市議は、市民一人一人の土台となり、その意見に耳を傾け(傾聴し)集約し、市政に反映する人です。

桜井一太の三カク宣言

- 一、汗をカク
常に現場主義に徹して、自分の目と足で確認します。
- 二、恥をカク
「聞くは一時の恥、聞かぬは末代の恥」
教える請うことに恥じない。
- 三、夢をカク
市民一人一人が今に輝き、未来に夢を描けるよう、郷土発展に全身全霊で取り組みます。



竹花 みゆき

昭和四〇年六月四日生まれ
洗足学園音楽大学 音楽教育科卒業
中学校教諭普通免許(音楽)一級
高等学校教諭普通免許(音楽)二級

◆教育・文化

- 国際化に対応できる人材の育成・小中学校での英語教育の充実
- 教育環境の充実(学校備品の充実、トイレの洋式化など)
- 安心安全な通学路の整備・危険箇所の改善
- 質の高い文化・芸術に触れる機会の確保と充実
- 望月高等学校の存続

◆商工・観光・農林業

- 望月・浅科・白田・佐久地域の文化歴史・観光資源を大切に、整備をはかるとともに、それぞれの地域の賑わいを創出するために観光波及の仕組みづくりに努めます(誘客対策)
- 太陽光発電・バイオマス・小水力発電等、自然エネルギーの活用と地産地消を推進
- 企業誘致の推進と既存企業への支援
- 耕作放棄地対策や林道整備など農林業の活性化に努めます

◆都市づくり

- 東西幹線道路をはじめとした地域内幹線道路網の整備を推進し、均衡ある発展と住みやすい都市づくりを目指します
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて交流事業等を推進し、スポーツの力を活用し、地域活性化に

◆福祉・医療

- 医療・福祉体制の構築及び充実に努め、高齢者や年少者・障がい者に優しく、ぬくもりのある健康長寿都市を目指します
- 公共交通の利便性を更にはかり住みやすいまちづくりの構築

未来を担うひとづくり

市民の皆様健康長寿を目指し!

地域資源を生かした街づくり!
水、空気、自然、米、野菜、果物等の6次産業化の研究と! 実現!!

日本の真ん中
佐久平

スポーツ活動の支援。ポールウォーキング・ノルディックウォーキングの普及推進!
近隣地域との連携・絆を大切に、発展を続ける佐久市の問題解決に向け、全力で取り組みます。
未来を担う若い人たちの、夢が叶う街を目指し!!

【略歴】・1947年 佐久市長土呂生まれ・長土呂スポーツ少年団長10年・長土呂区公民館長、副区長6年・平成21年佐久市議会議員初当選・総務文教委員会、副委員長・議会改革特別委員会、副委員長・平成24年佐久市議会議員2期目当選・経済建設委員長・議会改革副委員長・佐久広域連合議会議員・浅蘆水道企業団、総務委員長・都市計画審議会委員

若い力があふれる未来へ



神津 正
こうづ ただし

やさしさと思いやりをすべての人に

安全 安心 子ども

安全な食は生きていく上で必要不可欠。遺伝子組み換え作物などの参入を防ぎ、地元の安全な水や農作物を守ります。

子どもを守り、親を支援して、子どもたちが住みたいと思えるふるさとづくりをすすめます。子育て世代の声を届けます。

いのちを大切に。高齢者・障がい者・すべての人が安心して暮らせるまち、誰もが住みやすいまちを目指します。

安全な食は生きていく上で必要不可欠。遺伝子組み換え作物などの参入を防ぎ、地元の安全な水や農作物を守ります。



吉川 友子
よしかわ ともこ
(45才)

Eメール 2013tomoko@gmail.com ホームページ www.yoshikawatomoko.com

「一人の声を大切に」 目指します!

- 3つの政策!
- ①18歳までの子ども医療費窓口無料化
現在は、窓口で支払ったお金が後で戻ってくる仕組みですが、今後、窓口での無料化を目指します。
 - ②介護支援ボランティアポイント制度の導入
高齢者の介護予防促進と、ポイント還元による地域活性化を促します。認知症サポーターを増やします。
 - ③新婚さんハッピークーポンの発行
新生活に伴う経済的負担を軽減していきます。

頼れる即戦力!
ご挨拶
生まれ育った愛する佐久市の為に、働かせて頂く決意を致しました。佐久市の発展と、福祉の向上の為に皆様を全力でサポートします。何卒、宜しくお願い申し上げます。



公明党公認
小林 としはる
としはる

さらに目指します!
☆中小・零細企業、小規模事業者政策の拡充 ☆中郡横断道の早期開通
☆空家、廃屋の有効活用で地域活性化 など
プロフィール
●昭和31年1月2日生まれ(61歳) ●公明党佐久支部副支部長
●北佐久農業高校卒、拓殖大学政治経済学部卒 ●佐久市横和在住
●横根簡易郵便局局長 ●妻、長女、長男、次女の5人家族

水と緑きらめく自然と共に 健康長寿で生涯現役!

食料自給率向上 小規模農業 自然エネルギー利用促進 メディコポリス構想推進

『食料の自給できない国からつづれていく、自給は自立につながる』と故住井する先生・故若月俊一先生は三〇年前から警鐘を鳴らしていました。

◆健康の為の農業の推進。
◆楽しむ「農」のある暮らし。
◆小規模農業の重要性を提唱。

◆太陽光・バイオマス等の自然エネルギーの積極利用。
◆小水力発電設備の整備・普及促進。

◆医療・福祉等の発展による地域再生。
◆健康長寿で生涯現役の施策推進。
◆「医療福祉の佐久市」を定着させる。
◆森林療法(森林セラピー)の推進。



自由民主党公認
なか じょう
中條 としかず

◆私の住んでいる里も「辺地」の要件を満たして久しいです。そのような区が頑張れば、佐久市はさらに発展すると信じています。
”鳥の声、川のせせらぎ、猫の声、木瓜(ボケ)の花咲く辺地の句(区)”
※「辺地」:「辺地総合整備計画」にて指定された公共施設重点整備の8地区。

平成29年4月16日執行 佐久市議会議員一般選挙公報

佐久市選挙管理委員会

希望がかなう『元気』な市まちに!

- ① 高齢者福祉の充実**
 - 買い物弱者への、生鮮日用品の「移動販売」サービスの拡充
 - 75歳以上の高齢者への市内バス、デマンドタクシー、温浴施設等の共通利用券の供与
- ② 文化振興の推進**
 - 「文化振興基本計画」の中見直しに基づく新規振興策の策定と積極的な推進
 - 「文化振興基金」およびその運用益の中期活用計画の策定
- ③ 歴史文書の整備事業**
 - 市内数ヶ所に分散している21万点におよぶ古文書、公文書等の一括管理体制の確立
 - 廃校跡を活用した歴史文書管理施設「文書館」設立への取り組み
- ④ 自然環境の保全推進**
 - 旧美笹自然観察園の整備管理体制の確立と「観察園の本格復活」
 - 自然保護団体との協働による「生物多様性地域戦略」の早期策定
- ⑤ 大沢地区への公共下水道整備**
 - 多彩な文化があり、希望がかなう。目指すのは、そんな元気で、やさしい郷土づくりです。



よしおか
吉岡とある
自然を愛し、人を愛する

<プロフィール>
● 生年月日 昭和17年9月8日(74歳)
● 学歴 野沢北高等学校卒、中央大学法学部法律学科卒
● 職歴 経歴 昭43～55年 米田出版社勤務(百科事典編集・営業管理部長)
昭56～国内リース会社勤務(人事総務部長・子会社社長)
平6年～横浜市内で和食店経営(平22年、父の死去に伴い大沢へ帰郷)
平23年～地区公民館館長等
平25年～佐久市議会議員となり、現在に至る
● 趣味 家庭菜園、ゴルフ、海釣り



佐久市議会議員候補者
つちや
土屋ひろこ

女性目線でつなぐ 佐久の未来

人と人がつながる街!
「出逢い」「ふれあい」「助け合い」の街!

赤ちゃんを抱いたママと、
じいちゃんばあちゃんが集い、
学校帰りの子ども達が寄り道しながら
宿題したり遊んだりできる場所。
そして一緒に食事できたら
もったいないよね!!
実現します。

● 子育て等
佐久特区構想を
推進します。

● 佐久の美味しい安心なお米、
農産物を発信します。

6年間の
在宅介護の
経験を活かした
提案を
していきます。

土屋ひろこプロフィール
● 昭和27年野沢生まれ
● 長野県野沢北高等学校入学
長野県・パル一帯で活動しました。
67回卒業
● 日本大学芸術学部 演劇学科卒業
● ベルミュージック入社
● 鈴木修造ダンススクール
● 舞川正雄レコーディング
● 舞ひるみコンサート
● 阿部泰之助コンサート
● ハンドベル製作 等に専らしました。
● 現在 舞師司女将

生活者目線の声を届けます まだまだ上がる国保税、値上げ阻止します!

夢かなえられるまち佐久

佐久に今、そしてこれから生活をするすべての人の
夢・想いがかなえられる、そんなまちを目指して

- 1 佐久の子どもたち**
子どもたちを取り巻く環境変化に対応します。
● 所得格差による学習機会の不公平の解消。
- 2 佐久のこと**
地域固有の財産の磨き上げ。
● 観光資源を磨き上げ、市内外へ売り込み、
交流人口の増加を目指す。
- 3 議会のこと**
「地方の時代」にふさわしい議会を目指し、
議会スキルのアップを目指す。
● 議会報告・意見交換会の場での市民意見を
行政に反映できる仕組みづくりを目指す。

<プロフィール>
昭和39年 下越(旧臼田町)生 52歳
昭和57年 臼田高校卒業
平成21年 佐久市議会議員選挙初当選
会派「市民の風」代表として議会内の先例に対し改革を提言。議会基本条例の制定に尽力
平成25年 佐久市議会議員選挙2期目。総務文教委員長として議会全般にわたり調整
佐久市議会初の政策条例「佐久の清酒普及」条例の制定に幹事長議員として尽力



たかはし
高橋よしえ
良衛

持前の行動力と実績

- ◇現場主義 ◇市民の意見をよく聞きます

一般質問などで取り組んできました

- 若い人が佐久で結婚し、生活できるような婚活支援しています
(県認定婚活サポーターグループ、佐久咲くマリアージュで複数組が結婚しました)
- 歯周病が全身の病気に大きく影響するため、口腔ケアの必要を訴える
4月から集団検診での歯周病検診500円が無料になります
…歯磨きで健康寿命を伸ばし、保険税を下げよう… (国保税5億円の削減が可能)
- 暮らしやすいまちづくり、市運回バスなど公共交通の充実
10月から北部路線12便、南部路線12便の循環バス運行とデマンドタクシーが拡充されます
- ベレトストープ導入時の県補助(10万円)に、市補助を5万円上乗せし、合計15万円の補助になりました
- 佐久市産木材の利用促進 平賀保育園、望月保育園、南インター道の駅が、佐久市産カラマツ使用による木造建築になりました
- 人口減少と将来のまちづくり ●横断歩道手前のカラー舗装(旧中込学校～石神間の3か所)

昭和23年 佐久市中込石神に生まれる 佐久市中央区に居住 岩村田高等学校卒業
津河田(東京新宿)で教育玩具ダイアブロッグの商品企画に従事
昭和52年 信州路木創業 現相談役 元佐久市中央商興会々長 元佐久市観光協会理事
NPO法人佐久生活文化推進機構理事 買い物支援の店運営



やなぎさわ
柳沢きよし

40年の行政経験は、市民の皆様と 歩む議員活動に必ず役立ちます。

プロフィール
昭和31年 佐久市上平尾生まれ
昭和50年 佐久高等学校卒業
昭和52年 日本大学短期大学部
工芸建築科卒業
昭和52年 佐久市役所勤務
建設部次長
佐久市振興公社事務局長
建設部長
平成28年12月退職
座右の銘
継続は力なり

- 市民総参加のスポーツ活動を推進
- 県立武道館の多様な活用方法を提案
- 平尾温泉を活用した健康増進
- 元気を支えるまちづくり
- 市内の観光資源の掘り起こしと交流人口の創出
- 平尾山周辺の環境整備と利用促進
- 高齢者等にやさしいまちづくり
- 通学路の整備と幹線道路・生活道路の整備
- 地域を元気にするまちづくり
- 若者が活躍するまちづくり
- 故郷で就職できる企業誘致と工場団地整備
- 起業家への支援拡大
- 空き家を活用した住環境整備
- 高齢者にやさしいまちづくり
- 高齢者等が安心して生活できる公共交通の提案



ともしげ
土屋

動きます! あなたのために

ごあいさつ
皆様のあたたかいご支援を頂き、2期8年にわたり様々な角度から政策提言をして参りました。そして政策提言が事業化に至ったものも少なくありません。これからも市民福祉の向上のため、弱者の視点を忘れずに全力投球して参ります。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

★ 推進しました! (一部をご紹介します)

- 被災者支援システムが導入されます! (前改選時の公約です)
- オレオレ詐欺対策機能が付いた電話機購入に補助金が出ます!
- サポートブック『虹のかけはし』の作成を推進!
- 猫の不妊・去勢手術に補助金制度を導入、制度の拡充を推進!

★ 推進してまいります!

- 買い物弱者対策と支援の充実をはかります!
- 障がいのある親と子を支援する
『療育支援センター』の拡充を推進します!
- 国と地方自治体が連携して雇用対策を進める
『地方版ハローワーク』の設置を推進します!

●昭和30年9月3日生まれ、妻・子(3人)の5人家族、東京経済大学卒、党政策調査局長、佐久市春日在住。



公明党公認
えもと
信彦
65歳
(61歳)

平成29年4月16日執行 佐久市議会議員一般選挙公報

佐久市選挙管理委員会



Challenge!!
小林 たくゆき [43歳]

**誠実な若い発想と
安定感ある確かな行動力で
皆様の声を市政につなぎます**



● 市民の協働で築く、佐久平らしいまちづくり
● 愛着を育む、活力みなぎる元気なまちづくり
● 誰にも安心して、快適な住みよいまちづくり

1973(昭和48)年、佐久市生まれ
住所/岩村田(一本柳)
本籍/中佐都(常田)

【略歴】
● 岩村田保育園、岩村田小学校、
浅間中学校、岩村田高等学校、
法政大学経済学部卒業
● 元 第80代内閣総理大臣羽田孜秘書
● 元 参議院議員羽田雄一郎公設秘書
● 佐久市議会議員(現在3期目)

【主な議会活動】
● 佐久市議会議員
● 佐久広域連合議会議員
● 全国市議会議員会評議員
● 北信越市議会議員会評議員
● 全国若手市議会議員の会副会長
● 元 佐久市議会総務文教委員長
● 元 佐久市議会高速交通網特別委員長
● 元 長野県市議会議員会副会長

【主な地域活動】
● 佐久市消防団員
● 岩村田高等学校同窓会常任理事
● 佐久長聖中学・高等学校後援会幹事
● 佐久市柔道協会会員
● 佐久市マレットゴルフ連盟会員
● 佐久熱気球クラブ会員
● 佐久市立近代美術館友の会会員
● 佐久ロータリークラブ会員

投票では「小林たかゆき」に皆さんの大切な一票をお願いします。
引き続き「小林たかゆき」を皆さんのために働かせてください!!



篠原 つとむ

みんなと創る ふるさとの輝き

私の思い描く町づくり

三世帯、四世帯が、このふるさとに根をおろし、
共に生きあひ、健康で働き、安心して、
「三三三」ながら、豊かに暮らしていける町。
それが、私の思い描くふるさとです。

私の活動方針

- 生涯をたくせる働く場のある社会の実現。
- 「自然、教育、文化」の充実した環境の創造。
- 「健康長寿」と「安心、安全」に暮らせる社会の維持・発展。

☆「あなたと共にあゆむ町づくり」

篠原 つとむ プロフィール

昭和二十三年三月二十二日、佐久市鍛冶屋に生まれる。
野沢北高等学校卒業、東京経済大学卒業。
商社東京でI.P.C.はじめ中近東関連の仕事に携わる。
昭和五十五年佐久に戻り、家業の理髪店「綿忠」を継ぐ。
元佐久青年会議所副理事長、前佐久市会議員



国の暴走政治にキッパリ対決 市民の目線で願い届けます



小林 まつこ
日本共産党

年金カット、「共謀罪」に森友疑惑…。今の政治は
でたらめすぎます。市政では、種橋開発に30億円も
の税金を使う一方で、3割増の国保税値上げです。
「暮らし向きが悪くなった」「税金は福祉のため
に」。私は、この思いをしつかり受けとめ、国や市
にはつきりものを言い、市民の願いを市政に届け、
実現のために全力をつくします。

● 国保税の値上げ中止、引き下げを
国に一人一万円の引き下げを求めます。

● 子育て支援、教育の充実を

● 子どもと障がい者の医療費を窓口完全無料

● 返済不要の給付型奨学金制度の実現

● 学校給食費、保育料の無料化

● 高校生に通学補助、望月高校の存続を

● 店舗・住宅リフォーム助成制度

● 高齢者のタクシー利用に補助制度を

● 農業・林業・農協を守り、地産地消の促進

● 働くものが大切にされる雇用・就業対策

● 川西赤十字病院への財政支援の拡充

● 憲法9条守り、原発ゼロ、オスプレイ中止を

国保基金4億円、財政調整基金73億円を活用します。

人の集まる佐久市をめざします。



おおつか ゆういち
大塚 雄一

愛するふるさと佐久市のために
情熱を込めて活動します

● 地域経済の成長・雇用確保

各地域の特徴を活かすアイデアを提言し
集客をめざします。空き地等の支援プロ
グラムを立案して企業を誘致し雇用を確
保します。

● 安心して子育て環境に
さらなる提案

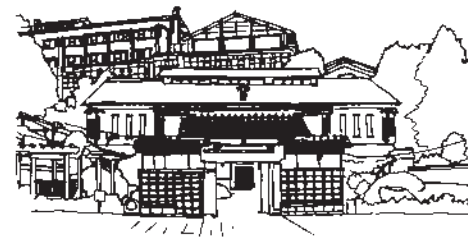
安全で安心できる環境、市独自の子育て
支援を提案します。

● 福祉都市としてのさきがけをめざします

医療、福祉体制に予防体制の充実を連携し、長寿都市佐久市か
ら健康長寿都市佐久市をめざします。

● 市民の声を議会と行政に届けます

市民の声を市政に届けると共に市民の想いを形にします。市民
からのアイデアを積極的に取り入れて実行します。



いのち輝く未来かがやく 佐久市のために行動します!

- ①子どもの医療費の窓口無料化
- ②高齢者の介護ボランティアポイント制度の創設
- ③中部横断自動車道の早期全線開通

市民の声を大切にし市政に反映させることができました

4期16年の豊かな経験と実績!!

- ※子どもの医療費無料化を拡大
- ※不妊治療、不育治療への助成制度を拡充
- ※市の福祉課に女性専門相談員を配置
- ※ネット依存、ネットいじめ防止対策を推進
- ※市役所本庁各支所に、使用済み小型家電の回収・リサイクルボックスを設置



—KOMEI—
公明党

プロフィール

- 1957年3月18日生まれ●帝国女子大学(現・大阪国際大学)卒業●佐久市議会議員4期 元副議長
- 夫、長女、長男、母の5人家族●取出町在住●市監査委員●日本・エストニア親善協会副会長●保護司
- チャイルドライン(子どもの無料電話相談)メンバー●しあわせ福州婚活サポーター●認知症サポーター
- 長野県発達障がい者サポーター●日本フェミニストカウンセリング学会会員
- ホームページwww.komei.or.jp/km/saku-wajima-miwako/

わじま美和子



子供にツケをまわさず、
子供が帰れる故郷をつくりましょう!

- ①子供は未来の礎。学校を守ります!
- ②必要なところに必要な予算の配分を!
- ③子供にツケをまわしません!
- ④情報公開で市民参画の場をつくります!

子供に
ツケを
まわさない!

市民目線に立った
税金の使い方を考えます!



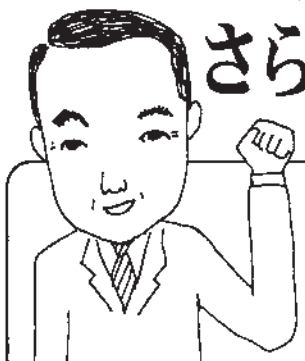
いとう こういち
工藤 こういち

51歳

平成29年4月16日執行 佐久市議会議員一般選挙公報

佐久市選挙管理委員会

4期の実績を生かし
さらに佐久の未来のために



プロフィール
昭和28年生まれ。早稲小学校、中込中学校、日田高等学校、日本大学生産工学部卒業。石川製作所(株)勤務。平成13年佐久市議会議員当選。(4期目)

【市議会における活動実績】

- 3期目
経済建設委員会
委員長
- 4期目
佐久市議会副議長

佐久水道企業団副会長
佐久市振興公社理事
議会報告・意見交換会運営委員長 等

【私の決意】
豊かな土地、恵まれた環境を活かした農業の保護・展開、観光・産業の活性化等、地域経済の発展・景気対策に積極的に取り組めます。さらに、安心して産み、健やかに育てるための子育て支援、通学路の安全確保、医療機関と行政が一体となった地域医療・社会福祉の充実など、子供も、若者も、お年寄りも安全で調和のとれた街づくりのために4期の経験を活かし邁進していく所存です。ご指導、ご支援を心からお願ひ申し上げます。



いちかわ
市川 将
しやう

4つの「目」で、より良い町を！

- 親の目** 未来を託す子どもたちを、地域ぐるみで育てます！
- 農家の目** 田畑と食卓をつなぎ、命の尊さを伝えます！
- 移住者の目** 全国各地で暮らした経験を町づくりに活かします！
- 元記者の目** 市民の声をしっかり聞き、お金の無駄遣いを厳しくチェックします！



瀬戸中区在住
49歳、無所属

【プロフィール】
1967 東京生まれ。先祖は小諸市出身。野球少年。中1の夏にリトルリーグで全国制覇アジア選手権大会に出場
1992 北海道大学文学部卒業
1992～2010 読売新聞社勤務。長年、行政や議会取材。無農薬で年間50種類以上の野菜を栽培。

【佐久暮らし】
2014年度 佐久城山小学校PTA会長
2015年度 学校給食南部センター運営委員
2016年度～ 瀬戸中区青少年育成推進委員

佐久城山小で、朝の読み聞かせボランティア
社年ソフトボール 瀬戸Aチームでスポーツを満喫中

【家族】
妻、長男(中3)、次男(小5)
フェイスブック「しおかわ浩志後援会」 随時更新中！

しおかわ浩志



3つの重点政策

- 地域の景気回復と雇用の拡充**
社会情勢が激動の時代であり、産業の再生や企業の活力向上への雇用の拡充を図ります。特に佐久市の特徴を活かした新産業の創出。また、自然エネルギー・食料生産力・水資源を活用した農業と観光の連携、自然エネルギー産業の振興を図ります。
- 高齢者・障害者福祉**
高齢者や障害者が安心して暮らせる社会を目指し社会的に弱い立場の皆様、福祉の充実を図ります。
- 子育て支援・教育の充実**
安心して子どもを生み育てられる地域づくりの形成に努めます。特に、佐久市の特徴を活かし、若者が安心して暮らし続けられ、他県の若者も移ってくる魅力溢れる街づくりに取り組めます。

小さな子どもからお年寄りまで
みんなの幸せを求めて
私を育ててくれた大好きなこの地域に
元気を取り戻したい。

今やるべき事は、地方の景気回復と雇用、子育て、医療、介護、教育まさに生活の根本に関わる施策の充実と拡充。更に、社会保障や環境などの政策提案です。一人ひとりの意見を傾け、ひとつでも多くの要望を実現することが、私に課せられた責任であり使命と考えます。また、政策におおむね、地域の為、人の為の政治を実行しますので皆様の絶大な力を頂きます様、宜しくお願ひ申し上げます。



佐久市議会議員候補者
清水秀三郎
ひでさぶろう
49歳

プロフィール
昭和42年清水洋太郎・和子の三男として生まれる。2006年(公社)佐久青年会議所理事長。2007年(公社)日本青年会議所長野ブロック協議会会長。2010年長野県議会議員補欠選挙初当選。佐久市ホテル旅館組合長。2014年長野県議会議員補欠選挙当選(2期)。佐久商工会議所議員。中込秋田組合役員。佐久コスモスロータリークラブ会員。佐久平徳理法人会会長。中込商店会協同組合理事。中込中学校同窓会役員。佐久食品衛生協会中込支部役員。佐久納税貯蓄組合連合会青年部会員。佐久市立中込小学校PTA会長。

- 地域を愛し、
誠心誠意つとめます。
- ① 地域のつながり、安全を大切にしたい街づくり**
子どもから大人まですべての市民が互いを尊重し合い、佐久に暮らすことに喜びを持てるよう、安全・安心で明るい地域社会にしていきたいです。
 - ② 子どもを安心して産み、育てられる環境整備**
パパ・ママになる若いみなさんが安心して子どもを産み育てられるよう地域全体で支援し、赤ちゃんいっばいの街にしていきたいです。
 - ③ 起業促進で活力あふれる地域振興**
企業立地に適したこの佐久の地を、日本の新しい産業の起爆点となるよう企業誘致とともに起業促進を図り、雇用拡大、産業の振興に努めていきます。

プロフィール

●昭和22年4月22日 佐久市生まれ(69歳)
●昭和41年3月31日 北佐久農業高等学校卒業
●昭和43年4月1日 佐久市役所入職
●平成20年3月31日 佐久市役所定年退職
●平成25年4月14日 佐久市議会議員初当選
現在 経済建設委員長

●家族構成/妻・長男夫婦・孫2人
●座右の銘/一期一会
●趣味/スキー
●好きな生き物/ホタル

関本いさお



未来の子供たちのために、今！

- * オール佐久で子育て支援！学校教育の充実！
・子どもを安心して産み育てられる地域づくり
- * 健康・元気！ 福祉と健康の街づくり
・ひとりひとりの幸せを大切にする健康で安らぎのある街づくり
- * 変化はチャンス！未来への持続的発展を！
・雇用を生み次世代を担う若者のアイデアを市政に活かす
- * 食と農業・農村の振興
・地産地消、学校給食応援団、6次産業化の推進

井出こうじ 働きます！
未来の子供たちの為に、今、何をすべきなのか

プロフィール
昭和40年 佐久市白田(旧白田町)生まれ
野沢北高等学校卒業、玉川大学大学院修士課程修了
元カトリック幼稚園PTA会長、元白田小学校PTA会長
元白田中学校PTA会長
嶋屋稲苗株式会社 代表取締役、市議会議員



井出こうじ

勇気をもって働きます

人を育てる地域づくりを！
(-) 一人ひとりを大切に (-)

- ① 未来を担う子供たちのために教育の環境整備と充実を進めます**
- ② 基幹産業の農業を育て守り、食の安心、安全の確保に努めます**
- ③ 少子高齢化社会の中、地域の活性化と福祉の充実を図ります**

始める勇気
継続する勇気
改める勇気



【何かを始めるのは怖いことではない
怖いのは何も始めないことだ】マイケル・ジョーダン

三石 よしふみ



平成29年4月16日執行 佐久市議会議員一般選挙公報

佐久市選挙管理委員会

投票に行きましょう!



情熱と行動力。



若い人たちが佐久に戻り、
住み続けるため
特に力を入れる4つの分野

大井岳夫の
お約束
2017

雇用 雇用の創出、働く選択肢を増やす
地域 空き家対策、三世帯同居・近居の推進
教育 郷土愛を育む教育の推進、環境整備
農業 収入が増え、持続可能な環境づくり

佐久の可能性に挑む。

プロフィール

昭和51年 佐久市生まれ、
名前の由来は「八ヶ岳」から
平成8年 明治大学入学、
体育会相撲部で「心・技・体」を鍛える
平成12年 三和銀行（現三菱東京UFJ銀行）入行、中小零細企業を担当
平成18年 佐久地域活性化への貢献を志し、佐久に帰郷
平成21年 明治大学大学院カバナンス研究科修士（公共政策学修士）
佐久市議会議員に初当選（現任2期目）
佐久青年会議所入会、会員として8年間はまちづくり活動
現在 佐久市消防団員、相撲クラブにて熱血指導中!



おお
いたけ
お
大井岳夫
40歳

投票のご案内



- 1 投票日 4月16日(日) 午前7時から午後8時まで（馬坂区、広川原区は午前7時から午後6時まで）
- 2 佐久市議会議員一般選挙の投票の方法は記名式です。
投票用紙に 候補者の氏名を1人だけ はっきり書いて投票してください。
- 3 入場券は郵送でお届けしてあります。中開きのはがきで1世帯4人分まで記載されています。
紛失などで入場券がない場合でも選挙人名簿に登録されていれば投票ができますので、投票所で係員にお申し出ください。
投票日当日、佐久市に住所を有しない方は、入場券が郵送されても投票することができません。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したもので、掲載の順序は選挙管理委員会のくじにより決めたものです。